

抗議・要請書

2010年3月12日

内閣総理大臣
鳩山 由紀夫 殿

東京都千代田区三崎町 2-2-13-502
沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック
(連絡先：090-3910-4140)

米軍基地は沖縄県外へ!

普天間は撤去、辺野古「移設」は断念せよ!

民主党新政権は大きく政策変更し、脱官僚支配・政治主導で難問解決にあたるものと大きく期待されてきた。

前政権は地元沖縄住民の70%が反対しているのに、普天間移設先と称して辺野古基地建設するための環境アセスを強引に進めてきた。

今ここで基地建設を断念し、戦後65年にわたって沖縄県民を苦しめて来た軍事基地の重圧から解放すべき時だ。

普天間基地などは沖縄県外に移設できなければ、国外移設すべきである。

そうなれば移設先とされる辺野古基地建設のためにこれまで要した巨額費用とエネルギーはムダだった。

しかしこれまでの壮大な浪費に決着をつけ、沖縄県民が味わわされてきた苦しみを終わらせた偉大な政治家たちとして新政権は歴史に名を残すにちがいない。

前政権は核持ち込みをめぐる日米密約を隠し、国会でウソの答弁を続けて来た。密約はないとごまかして来た。歴代大臣・外相らのごまかしは、いまここできっぱり破棄・清算すべきである。

米国一辺倒では鳩山友愛政治が泣く。

対等な日米関係、平等なアジア外交に立つ、新国連外交推進こそが鳩山政権の求めるものではないか。

沖縄県民とわれわれの期待を裏切らず、きっぱりと政策変更せよ!

(以上)